

「自分の力、試したい」



中谷純逸野辺地町長(左)に全国大会出場を報告する藤田颯月さん(中央)と、八戸学院野辺地西高の迫祐子教頭

藤田さん(野辺地西高) 高校空手全国大会へ

野辺地

野辺地町の八戸学院野辺地西高(橋場保人校長)空手道部の藤田颯月さん(17)が、26日に開幕する空手の全国大会に出場する。藤田さんは20日、町役場に中谷純逸町長を訪ね、「どこまで勝ち進めるか、自分の力を試してきたい」と意気込みを語った。(山内淳二)

藤田さんが出場するのは、JOCジュニアオリンピックカップ第37回全国高等学校空手道選抜大会。26、28の3日間、高松市で開かれる。藤田さんは1月に盛岡市で開かれた東北大会の女子個人組手「マイナース59キ級」で優勝し、出場資格を得た。

藤田さんはこの日、空手の元世界チャンピオンで同校の迫祐子教頭と一緒に役場を訪問。「一生懸命練習してきた。大会では自分の実力を出し切りたい」と力強く宣言した。中谷町長は「健康に気を付け、万全の態勢で試合に臨んでください」と期待を寄せた。

2020年東京五輪の追加種目に決まった空手。五輪で評価が高まれば、正式種目入りする可能性もある。藤田さんのような若い選手にとって、今回出場するような全国大会で実績を積んでいけば、いずれは五輪選手も夢ではないという。

迫教頭は「正式種目化の道は整いつつある。藤田さんには、この大会で注目を集めるような活躍してほしい」と話していた。